

難波市政初の予算編成(2024)に向け市長の基本姿勢を問う 清水区三保のPFAS安全対策についても質疑

11月定例議会が11月20日(月)から12月13日(水)の日程で開催されています。

◆◆◆◆◆

11月補正予算(案)は、一般会計9億2326万円、特別会計14億4789万円で合計23億7114万円の増額です。

内容は、1「安全・安心の確保」、2「地域経済の活性化」、3「子育て・教育環境の充実」の3つです。財源は特定財源として河川災害復旧事業などに伴う国庫負担金、市債などを活用、一般財源からは令和4年度決算剰余金を活用します。主な事業内容は以下の通りです。

1 安全・安心の確保

① 巴川流域治水対策等事業：弁天池と所川堤への排水ポンプ設置と遠方監視システムの整備(8500万円)

② 生活排水処理基本構想策定事業：汲み取りし尿の処理施設の整備手法の検討(4000万円)

③ 河川災害復旧事業・葵区諸子沢の地すべりで被災した河川の復旧(2億2000万円)

日本共産党 静岡市議会議員団 ニュース

2023 - No. 4

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111
(内) 4541

FAX 054-272-4695
アドレス <http://www.jcpss.jp/>
メール yksf5@jcpss.jp

11月定例会本会議 各常任委員会日程

会期：11/20～12/13(24日間)
会場：静岡庁舎本館
開会：午前10時

○本会議(議案上程)	11/20(月)	12/5(火)
○総括質問	11/29(水)	12/6(水)
	11/30(木)	
	12/1(金)	
○本会議(議案討論・表決)	12/13(水)	

※本会議(総括質問)は静岡市ホームページから視聴できます。

11月議会での質問内容と日程予定

— 11月29日(水)・30日(木)・12月1日(金) —

代表質問

寺尾 昭議員

11月29日(水)

午後2時30分頃



「根拠」と「共感」を
市政にどう反映
新年度予算編成方針に
ついて論戦

静岡市は来年度に向けて予算編成作業を進めています。難波市長にとっては、自らの構想を来年度予算にどう反映させるのか、初の試みとなります。就任後半年を過ぎましたが、どのような市政を目指すのか市長は多くを語っていません。田辺前市長の置き土産ともいべき四次総(静岡市第四次総合計画)を引き継ぎ、子育て支援・教育や健康長寿に予算を重点配分する方針を掲げていますが、大規模ハコモノ建設も推進の姿勢です。市長の標榜する「根拠と共感に基づく政策執行」とどのように整合を図るのか質します。

総括質問

杉本 まもる議員

11月30日(木)

午後2時15分頃



生活保護行政
の早期改善を
求める

生活保護に携わるケースワーカーの配置が少なく、職員一人当たりの担当世帯数が社会福祉法第16条に定める標準の80世帯を長年大きく上回っています。令和3年度の包括外部監査では、ケースワーカーの年齢層が若いことや経験の少ない職員の配置が多いことなども指摘され、どう改善してきているのか、実態を質し、改善を求めます。

国保料の子どもの均等割額の減免を求める

国民健康保険料は構造的な問題もあり、負担が重くなっています。特に被保険者ひとりに付き34,700円の保険料が発生する均等割額は、子育て世帯にとっては重い負担であり、少子化対策にも逆行するものです。子どもの均等割の減免に対する市の対応を質します。

総括質問

市川 正議員

12月1日(金)

午前10時30分頃



市の清掃業
務について

家庭から出る可燃ごみなどの収集業務は、退職者不補充施策により令和7年度にすべて民間委託となる計画です。しかし、昨年の台風15号災害のように、緊急を要するもの、あるいは片づけできなかったごみの収集運搬など、委託仕様書によらないきめ細かな作業は、市の清掃職員が行っています。今後プラごみの分別回収も予定されていますが、市民が安心できるごみ処理の問題にどう取り組んでいくのか市の考え方を質します。

総括質問

内田りゅうすけ議員

12月1日(金)

午後2時15分頃



会計年度任用職員
制度について

静岡市の会計年度任用職員は、フルタイムとパートタイムの職員に分類され、その人数は約3700名とされています。

一般事務、保育・教育業務、調理員、医療業務、日本平動物園の職場など多くの職場で静岡市の業務を支えています。しかし、正規職員の処遇と非正規職員の処遇では違いがあります。官製ワーキングプアと言われないよう、処遇の改善を求めます。

PFAS(ピーファス)への対応について

発がん性が疑われる有機フッ素化合物ピーファスへの市と事業者の対応について質問します。清水区三保に工場がある元三井フロロケミカルでは、10年前まで発がん性が指摘されている、PFASを使用していました。静岡市がこの間、会社周辺の井戸水を検査したところ、暫定目標値を超えるPFASが確認されています。このことを受けて、①地元説明会の開催②情報公開について③調査結果と今後の対応④汚染水の除去について⑤国に対する明確な環境基準の設置要望について質問する予定です。

